

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

山口県美祿市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透訓ガ	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
22,166	8,950	第1種該当	-	10：1

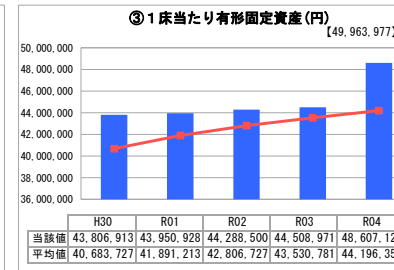
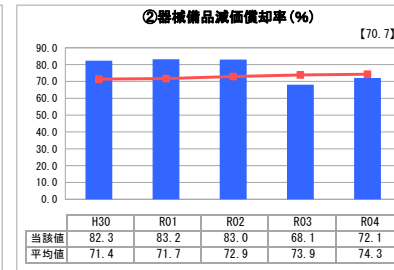
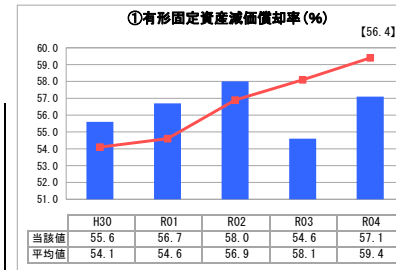
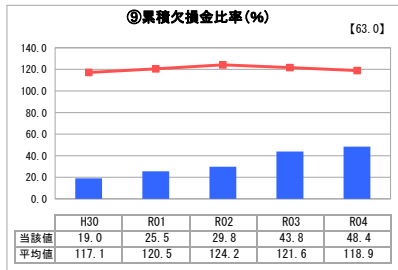
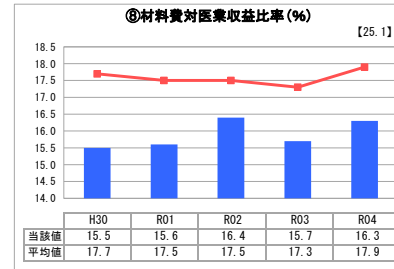
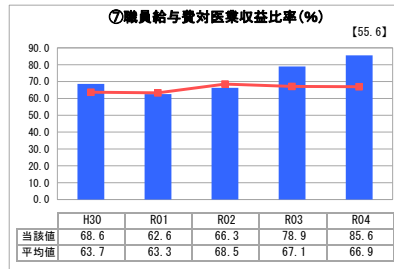
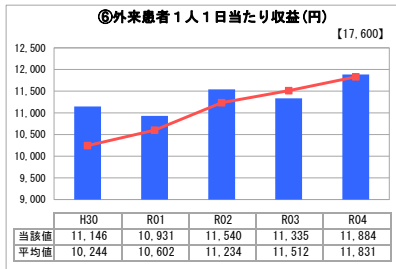
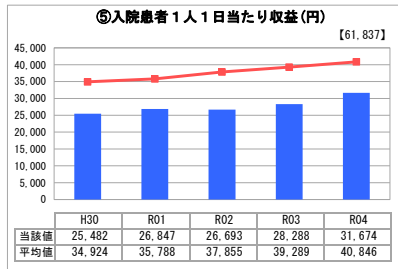
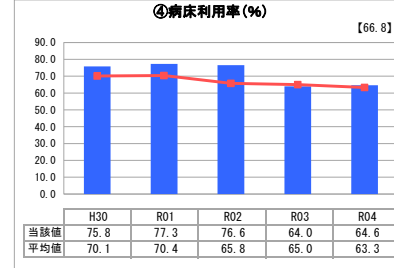
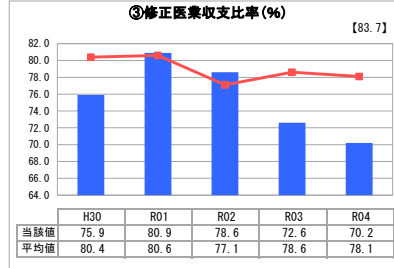
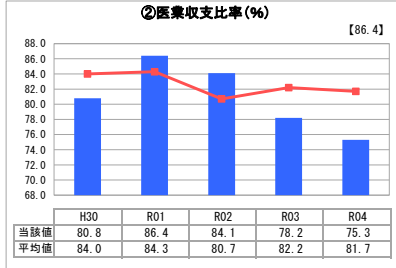
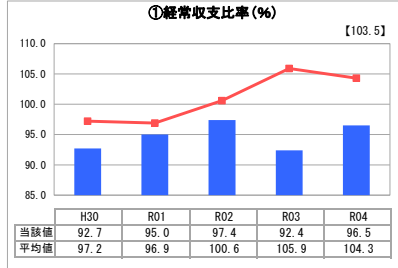
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
81	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	126
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
66	41	107

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
業務の再編・ネットワーク化を含む	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

本地域は、民間医療機関の立地が困難な高齢化の著しい過疎地域である。このような中、当院は、急性期から療養、在宅まで幅広く一般医療を担うとともに、救急医療の提供を担っている。本地域は、人口減少傾向にあるものの、入院受療率の高い後期高齢者数（75歳以上人口）は令和10年（2028年）頃まで増加することが見込まれており、引き続き医療需要に応じていく必要がある。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症入院患者を受け入れるため、一般病床を10床休床したこと、また、新型コロナウイルス感染症入院患者に対応する看護師を確保するため、コロナ病床以外の一般病床の稼働を抑制したため、病床利用率が大きく落ち込んでいる。医業収支比率は、病床利用率の低下と感染対策に係る材料費の増加及び給与費の増加、物価高騰等の要因により平均値を大きく下回っている。経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症入院患者受入れに係る空床補償が増加したことから改善しているが、医業収支比率の低下等により、依然、平均値を下回っている状況である。累積欠損比率については、令和4年度において純損失を計上したことから上昇傾向にあり、当市の患者像に合致し、収益性の高い地域包括ケア病床への転換を促進する必要がある。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率について、令和3年度に更新した医療総合情報システムやCT撮影装置等の高額な医療機器の減価償却が開始となったことから上昇した。施設設備は、空調設備等の開院当初より使用している設備も依然残っており、計画的な更新が必要である。また、医療機器については、定期的な保守点検により安全な使用に努めているが、耐用年数経過やメーカーの保守対応困難な機器を中心に計画的な更新を行っている。

#### 全体総括

平成28年7月に策定された山口県地域医療構想及び平成29年3月に策定し令和2年3月に全面改定した新美祿市病院改革プランに基づき、本地域における医療需要に対し、医療提供内容や規模の視点から適切かつ的確に対応していく必要がある。また、周辺医療機関との紹介・逆紹介といった地域連携機能の強化や、地域包括ケア病床への機能転換などで収益性を高め、持続的で安定した経営に取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。